

令和元年度決算について(概要)

(1) 資金収支計算書

令和元年度の資金収支の状況は、当該年度の収入額が42億2,797万3,424円、これに、前年度より繰り越された30億6,230万5,880円を加えると収入の部合計は、72億9,027万9,304円となった。

一方、支出額は、44億4,397万6,526円であったので、差引28億4,630万2,778円が翌年度の繰越支払資金となり、昨年度より2億1,600万3,102円減少した。これは、収入における補助金収入の減や、支出における人件費支出・管理経費支出の減によるものである。

(2) 事業活動収支計算書

令和元年度の事業活動収支決算のうち、教育活動収支の概要について予算との対比で説明すると、収入については、寄付金、経常費等補助金を除く、学生生徒等納付金、手数料、付随事業収入、雑収入の科目において予算額を上回った。

学生生徒等納付金については、25億9,338万8,230円、経常費等補助金は6億915万4,416円となった。これらの結果、教育活動収入額は、予算を2,620万5,238円上回り、34億6,069万8,238円となった。

一方、支出については、管理経費を除く人件費、教育研究経費において予算額を下回り、その結果、教育活動収支における教育活動支出額は、38億1,203万2,430円となった。

この結果、教育活動収支差額は△3億5,133万4,192円となり、その他の、教育活動外収支差額及び特別収支差額を合わせて、基本金組入前当年度収支差額は、△3億5,734万7,386円となった。

また、基本金への組入額は、4億5,313万2,615円となっている。この内訳は、牛田キャンパス3号館の解体に伴う盛替工事及び霞キャンパス自転車置場改修工事などによる第1号基本金組入額が2億2,113万2,615円、短大新棟I建築に係る第2号基本金組入額が、2億3,200万円となっている。

基本金組入後の当年度収支差額は、△8億1,048万1円で、これに、前年度の繰越収支差額と基本金取崩額を合算した翌年度繰越収支差額は△38億7,260万3,274円となった。

(3) 貸借対照表

学園の財政状態を貸借対照表によって説明すると、令和元年度末現在の資産の総額は、154億470万3,020円となった。その内訳は、有形固定資産87億8,731万5,706円、特定資産32億5,129万618円、その他の固定資産4億4,380万11円及び流動資産29億2,229万6,685円(内未収金7,301万3,358円)である。

他方、負債の総額は、退職給与引当金、前受金など固定負債及び流動負債を合計して27億5,275万3,320円、基本金は、校地、校舎、機器備品、図書など教育研究に必要な資産の自己調達額を示す第1号基本金が145億65万2,974円、将来固定資産の取得に充てる第2号基本金が18億390万円、学校を恒常的に維持するための資金を示す第4号基本金が2億2,000万円となっている。